

水道事業の今年度予算  
収益的収入及び支出

区分	科目	金額	備考
営業収益	給水収益	393,924	水道料金収入
	受託給水工事収益	34,738	修繕料受託工事収入
	その他の営業収益	20,226	手数料収入
営業外収入	受取利息及び配当金	251	
	雑収益	4,500	不用品売却等の収入
	計	453,639	

## 支出

区分	科目	金額	備考
営業費用	原水及び浄水費	94,004	取水浄水配水池の費用
	配水及び給水費	57,240	送配水管・量水器の維持費用
	受託給水工事費	34,844	受託工事費用
	業務費	24,368	料金算出徴収の費用
	総係費	23,673	庶務会計の費用
	減価償却費	47,232	
	資産減耗費	8,453	固定資産除却費
	その他の営業費用	10	
営業外費用	支払利息	93,939	
	繰延勘定償却費	2,005	退職手当金の償却費
	予備費	10,284	
	計	396,052	

(差引利益見込額57,587千円)

## 資本的収入及び支出

区分	科目	金額	備考
企業債	380,000	拡張工事の借入金	

## 支出

区分	科目	金額	備考
建設改良費	拡張工事費	383,810	第5次拡張工事費用
	浄水施設費	700	浄水場配水池の改良費用
	給水施設費	3,160	新設量水器の費用
	備品購入費	3,100	
企業債償還金		31,430	企業債元金返済
計		422,200	

(差引不足額見込額42,200千円)

# “木”と“木”

水道局の去年の



ことしのこと……

## 配水幹線伸ばします

今年度は、財政健全化のため業務の改善に努めて、第五次拡張工事計画を進めます。浄水場の関係では、計画工事の最終年度として設備工事を完成します。これは、新旧施設の総合監視盤装置とデーター自動記録装置、空調施設などの工事を行なうものです。このほか、万一の停電などに備え、自家発電設備工事も行ないます。

配水管の関係では、前年度に引き続いて小合、茨城県、新潟地区的減・断水、水道工事も行なっています。本年度の計画線は、

▽茨城線(二五〇ミリ)：二千七百M ▽茨城バイパス線(二五〇ミリ)：一千五十M ▽中野線(二〇〇ミリ)：一千四百四十五M ▽車場線(二〇〇ミリ)：三百五十五M

十M

▽覚路津線(一五〇ミリ)：一百四十一M ▽山先一新町線(四〇〇ミリ)：二百五十M ▽同(三〇〇ミリ)：二百三十M ▽滝谷線(二〇〇ミリ)：二百九十九M ▽小合線(四〇〇ミリ)：九百八十M ▽金沢町—新金沢線(二五〇ミリ)：七百三十M ▽同(二〇〇ミリ)：一千五百M ▽同(一五〇ミリ)：一千百M — 総延長一万四百五十メートル。

なお、これら浄水場

の水圧が急増す

ることによつて、今後多くの石管の布

設替え工事などが余

り合わせて赤字解消の

予算が組まれること

になりました。

しかし、配管網の

整備で水圧が急増す

ることによって、今

度多くの石管の布

設替え工事などが余

り合わせて赤字解消の

予算が組まれること

になりました。

経理の概要では、

だい。今年度から

料金改定と加入金制

度が認められ、業務

改善、合理化努力と

このため、水道財政

はここ当分のままで

お買物、ご用命は市内で

マイホームの資金づくりから設計施工まで…

高級木造住宅設計・施行

**新潟建設株式会社**

新潟市役所となり TEL ②7151

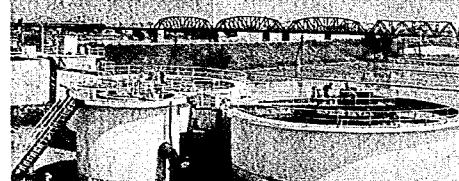
# くぱりにがばつ

しごとと今年のしごと

## 昭和49年度の経理状況(決算見込)

収益的収入及び支出(単位千円)

区分	科目	決算見込額
営業収益	給水収益	255,185
	受託給水工業収益	39,269
	その他の営業収益	877
営業外収益	受取利息及び配当金	957
	雑収益	3,611
計		299,899



浄水場に設備されている沈砂池(左端)と沈殿池

水道局は、四十九年度中に主な事業は、第五次拡張計画を引き続いて進めました。浄水場の関係では、净水施設の自動運転化をかるために、施設・設備を改良・充実しました。薬品自動注入設備、急速ろ過池、自動洗浄設備、水質計測設備をほどこしました。また、これらを集中する計装設備と、高区・低区配水量調整

の構内配管工事も行いました。配水管の関係では、山谷、北上、萩原地区に住む水不足解消に、バイパス線の布設工事を行いました。口径四百ミリと三百ミリの配水管をはじめ、口径二百ミリ、五百ミリの石綿管が布設されています。この管を約八百八十メートルにわたって取り除き、この工事で、水圧が少しきらい急増しても、管を布設替えました。この工事で、水圧が少しきらい急増しても、事故を防げるこ

りの配水管も布設して、全部三千百メートルを延ばしました。改良工事関係では、山谷町一地内には、口径百ミリのビニール管を約百八十八メートルにわたって取り除きました。この工事で、水圧が少しきらい急増しても、事故を防げるこ

とにありました。この表をご参照ください。この額は、四十九年度の決算額です。この額は、二千八百六十万九千円の赤字となつてあります。この管を約八百八十メートルにわたって取り除き、この工事で、水圧が少しきらい急増しても、事故を防げるこ

とにありました。この不足分は、内部留保資金積立金をあてもなお二千四百三十二万九千円の補てん不足となつて、最も苦しい財政状態となりました。

資本的収支では、四千二百四十万五千円となりました。

この不足分は、内部留保資金積立金をあてもなお二千四百三十二万九千円の欠損となりました。

資本的収支では、四千二百六十万五千円となりました。

この額は、二千八百六十万九千円の赤字となつてあります。

この額は、二千八百六十万九千円の欠損となりました。

資本的収支では、四千二百六十万五千円となりました。&lt;/div